時事新報

時事新報定價

一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓十錢〇一箇年前金六圓十錢〇舊冬祝一箇月金廿六錢〇一箇年金五圓十二錢〇（但本紙ヨリ直接賣捌スルモノハ此限ニアラズ）

東京　銀座　銀行會社　倶楽部　大阪　尾ノ道　新山　笠岡　岡山　廣島　和歌山　神戸　高知　下ノ關　名古屋　敦賀　岡崎　豊橋　熊本　新潟　仙台　秋田　宇都宮　高崎　八王子　千住　草加　千葉　登戸　寄川　松倉　東金　市川　八幡　船橋

時事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行廿四字詰　一箇限　二日以上　七日以上　十五日以上　十六日以上十五日迄　十一日以上十日迄　一日以上
自一行　一行　一行　一行　一行
百五十行　百五十行　百五十行　百五十行　百五十行
金錢　金錢　金錢　金錢　金錢
七十五錢　八十錢　九十錢　一圓　一圓二十錢
六十錢　六十五錢　七十錢　八十錢　九十錢
五十錢　五十五錢　六十錢　六十五錢　七十錢
四十錢　四十五錢　五十錢　五十五錢　六十錢
三十錢　三十五錢　四十錢　四十五錢　五十錢
二十五錢　二十五錢　三十錢　三十五錢　四十錢

時事新報

山縣伯沖繩縣ヨリ出張ス

内務大臣山縣伯は過般用有之沖繩縣へ出張を命せられ近日歸行興と共に同地ヨリ赴かるべしとあり内務大臣が出張は御用筋は何事なるや知ると得きといへども我輩の臆かに推察する所と以てするヨ琉球藩を廢して沖繩縣を置きし以來今日まで既に七箇年の星霜を閲せしといへども未だ曾て大臣の同縣に巡視ありしを聞かず然るに廣き世界の形勢い月に日に變化し明治十九年の今日は明治十二年の昔日と同しからず殊ヨ支那の東南朝鮮の南、日本の西南ゐ當りたる一帶れ海上は近來世界騒擾の一樞點と爲りて汽船の往來繁く軍艦れ出沒定りなく海霧濛々として數里の先きと辨せべらず沖繩縣は日本帝國の西南端に散布する幾個の嶋嶼より成るものにして常ヨ支那海嶽漠ヒ倚ヨ立つものゐり此地方既ヨ我帝國の一部分たり以上は時ゐ内務大臣の巡視ありて縣治れ如何と察し商工兵事の有樣をも觀察すると無事の今日ヨ當りて誠に緊要の政務ヨるに相違なうらん左すれば今回内務大臣ヒ沖繩縣出張はこれといふべき特別の御用筋なきと假定ひるも尋常一樣の巡視共事のみにても早く既に十分緊急の性質を帶るものありと稱して可ならん

内務大臣が琉球諸島を巡視せられたる上は必ず其商工兵事等の進北改良に關し種々大に發明せらるゝ所あるべきや疑を容れず早晩必ず其實施を見るべ兆と無論ありといへども我輩が特に愛に一言と呈し度きは日本内地と琉球諸島との交通上に今幾層の便利と與へられん事即ち最ゐ我國にては傳川政府の時代以來北門の鎖鑰と稱して北海道地方ヨ意を用ひ力と盡すと雖ざ少ゐからず近日は攻北海道の新設に際し一般の人心覺別に北海道の様子しさりといへども廣く世界の形勢を通覽それば今日の日本は北門ヒ鎖鑰の固からざる可ざるべし其第二番門の鎖鑰の固からざる之義ふべき地位ヨ在るれたることを證明するならん琉球は日本帝門の第一鎖ゐして九州は其第二鎖ヨ力佛ヒ鎖を守るは現今國ヨ第二鎖を守る樣にして其事の大切ゐる固より論辨を要せず琉球諸嶋は支那海往來の衝に當り其地位甚ざ形勝なるのみゐらず遠く南洋に在りて氣候甚ざ溫暖ゐれど砂礫瘠薄畜産土地の產物少なからず加之近日は又其南端八重山の一島に於て良質の石炭筑を發見し既に其採掘に着手ヨたりといへり石炭ヒ軍艦商船を問はず今の航海に欠べからざる重要品にしく殊ヨ此重要品を萬里航海の中途ヨ於て直ヨ抗界の競賣ヨ附するゐともあらん斯の如く琉球諸嶋一般ヨ其價ヒ競り上ぐるゐとゐらん斯の如く琉球諸嶋一般ヨ其形勝と云ひ產物と云ひ既に他人れ羨望を招くに足る其上に更に又其一島ヨ良質れ石炭筑ありと云へば俗ヨ所謂羊羹ヨ太白のごろもりけたる者にして一たび其甘味に指ヒ染めんゐとを希望せる世界一般人情れ常ゐるべし然るに斯く其だ大切なる琉球諸島ゐ未て目下内地と交通の有樣は如何と尋ゐる唯月ヨ一回汽船の相往來せるゐとゐる位ゐ過ぎずして電線の連絡もゐく軍艦れ常備もなく南洋畑波深き處に離群獨居して世界を知ることゐし一旦緩急事ゐるも誰に向て援を呼ぶべきヲ不安の至と云ふべきゐり

故に今我輩の見を以てすれば陸摩より大嶋と經へて沖繩本嶋ヨ海底電線を通じ同時に那覇或い其他適宜れ港灣と修築して軍艦商船の出入碇泊ゐ便にし其商事と進ヒ武備を嚴ヨすると共ヨ益内外の往來と頻繁ならしめ琉球遠く南洋ヨ在りといへども交通自在にしく復た其離群と歎するの嘆なからゐ之ヒんことを欲せるなり既に琉球海底電線成り又其港灣の修築成りたる後更に南門の鎖鑰と固うせるの手段は陸摩より豐前に達するの九州鐵道と長門より播津ヨ達するの山陽道鐵道とを布設して東西の連絡を通じ平時常ゐ大に人事の進歩を促がすと同時に有事の日ゐ際すれば往來迅速絶て阻隔の憂ゐく進退攻防共に時機と失ふの憂なからしめんゐと欲するなり依く今内務大臣山縣伯の南行に際して一言以て其行ヒ送ること爲の如ゐ

官報

○告示第八號

本年第二回獸醫開業試驗擧行ノ地方及其期日左之通相定候條志願ノ者ハ明治十八年第十七號布達ニ準據シ其願書ニ試驗ヲ受ケントスル望ノ場所ヲ記載シ本年六月中居住ノ地方廳ヘ出スベシ

右告示ス

明治十九年二月十九日　農商務大臣子爵谷干城

八月下旬（長野縣下長野市島原縣下福島北海道函館）
九月上旬（新潟縣下新潟山形縣下山形北海道札幌）
九月中旬（宮城縣下仙臺北海道根室）
九月下旬（岩手縣下盛岡富山縣下高山）
十月上旬（福井縣下福井秋田縣下久保田）
十月中旬（青森縣下青森）
十月下旬（島根縣下松江）
十一月上旬（鳥取縣下鳥取愛媛縣下松山大分縣下大分）
十一月中旬（大阪府下大阪高知縣下高知福岡縣下福岡）
十一月下旬（熊本縣下熊本岡山縣下岡山沖繩縣下那覇）
十二月上旬（長崎縣下長崎廣島縣下廣島鹿兒島縣下鹿兒島）
十二月中旬（山口縣下山口鹿兒島縣下鹿兒島靜岡縣下靜岡東京府下東京）

○德嶋縣虎列刺終熄景況　德島縣ヒ虎列刺病ハ本月一日始めて勝浦郡田浦村に發生し漸次近傍諸村に傳染し五日より十一日ヨ至るの間最甚しく猖々流行の兆ヲ呈はせしも病勢又漸次ヨ衰退し初發より經過三週間ヨして患者百八人死亡六十七人一昨二十二日に至りては全く新患者ゐきヨ至るり此の如く速ヨ終熄の狀を呈せし所以の者は蓋流行前に先ち迅速充分の豫防法と實施し病毒ヒ傳播を最初ゐ防圧檢疫本部と置き檢疫委員と設け豫防消毒ヨ從事せしむる等其の着手時機と失せず且撫恤の宜きヲ得たるに由るものなり（内務省報告）

○東京府傳染病患者　東京府天然痘患者い去る十三日北豐島郡下練馬村に男一人同十五日小石川區大門町に男一人同十七日麻布區麻布本村町ヨ男一人同十八日京橋區長澤町に男一人同十九日日本橋區堺江町に男二人芝區今入町ゐ男一人同區汐留町二町目に男一人同區柴井町に男一人麻布區東町に男一人同二十日小石川區金富町に男一人芝區西ノ久保明舶町に男一人同區南佐久間町に男一人東京府臨時病院内に男一人荏原郡南品川猿町に女一人同二十一日芝區濱松町一町目ゐ男一人同區兼房町ヨ男一人同區櫻田太左衛門町に男一人麹町區内幸町二町目に男一人本所區元町ヨ男一人合計二十人なり（警視廳報告）

○竄癲者失踪者迷兒棄兒總數　本年一月警視廳の調査に據れ之東京府内竄癲者は男二百五十九人、女百十三人、失踪者は男二百二十九人、女百五十二人、迷兒は男百十六人、女六十一人、棄兒い男二十四人、女二十四人、合計二十四人なり（警視廳報告）

（以上四件本年二月二十四日官報）

雜報

○大坂通信、國事犯嫌疑事件

本月二十日發大阪通信員より本社への報知に曰く去る十七日報道せし通り國事犯嫌疑者ヒ東京府内竄癲者は男二百五十九人、女百十三人、失踪者は男二百二十九人、女百五十二人、迷兒は男百十六人、女六十一人、棄兒い男二十四人、女二十四人、合計二十四人ヨ達し之ヒ内國事犯の見込ゐる者は僅ヨ三分過りにて其他之皆帶事犯にて貨幣偽造、銃に銃砲と所持せし者、彈藥製造規則に違背せし者、持兒器强盜等ゐりといふ各地方より本署へ送り越しヒる證據品の内銃砲刀劍れ類も其數少ゐきにゐらねど爆烈彈は四疊敷の間に高さ凡そ一尺計も積重る程なり又天秤棒に刀の身を仕込たるもの數十本ゐり嫌疑者所持の金銭は稻垣氏が第一等にて千十五圓次は礫山氏にて銀貨二百圓其他の人々も大抵百圓内外と所持ヨ居れりこの事件に關して警察署より論事へ廻したる意見書は罫紙ヨて綴り高さ凡ろ七寸程も ゐり又犯人中に〻調査の尤も多きは大井憲太郎氏にて矢張り罫紙ゐて其高さ凡一尺五六寸もゐるよヨなり犯人は目下大坂監獄本署中ノ嶋及堀川同分署へ三十名程づゝ繫囚せり云々

○高知通信　二月十五日高知通信員特發無報

○上京と歸縣　雲て陸軍省ヒ命に〻佛國に留學したる當縣人楠瀬某は此程歸朝して直ちに歸縣し居たるが一昨十三日の便船駿河丸にて上京の途に就きたり或は云ふ同氏は谷農商務大臣の歸洲出張に付其隨行員を命せらるゝゐらんと又過日來當地に滯在ヨ在る敏海軍少佐の一行は同船ヨて歸京し土佐製茶總取締長平尾雪壽氏は同船ヨて出京ヒ途に上ヨり○警部長　此程京都警部長會議に臨席する高知同地に出張したる安樂高知縣警部長は南三日前縣下に帰したり○訓替　高知始審裁判所陸軍裁判所兼務所長武田直行氏が當始審裁判所陸と命せられ去り○鯨油輸出　本縣幡多安藝兩郡の捕鯨會社より昨今度許多の鯨油と海外ゐ輸出する御合なりといへり

○改談演說の催ほし　徳島縣下の盛會ゐりたる程の盛會ゐりたるは近日中止を命せらるゝ樣にしたるは勿論通信員地方不景氣ヒ市民は勿論ヒ

○札幌通信　二月十五日高知通信員より特發無報

○名古屋通信　二月十五日高知通信員より特發無報

○熱田神宮